

生活保護は命のとりで

裁判支援「全国アクション」設立

安倍政権が強行した生活保護引き下げは憲法違反だとして全国で保護利用者が原告として立ち上がった裁判を支援する全国組織「いのちのとりで裁判全国アクション」が7日、設立され、

国会内で記念集会被開かれた。220人超が参加し、「生活保護基準という『命のとりで』を守り、より良いものにしていくことは、すべての人の命と生活を守ることにつながります」としたアピールを採択しました。

呼びかけ人の一人、井上英夫金沢大学名誉教授はいさつで「生活保護の利

用は権利」の世論を大きく広げ国政を揺るがし、朝日訴訟のときのように運動を



いのちのとりで裁判全国アクション 設立総会・記念集会 2013
裁判に立ち上がった思いを語る原告の一人川口日、衆院第1議員会館

大阪から参加した原告の女性は「命綱を削るなんて許されない。人間が人間らしく生きたいと願うのは普通のこと憲法が保障するもの」と訴えました。

呼びかけ人の一人、尾藤廣喜弁護士は、安倍政権が生活保護改悪を出発点に社会保障制度を根本的に破壊しようとしていると指摘。

「この裁判に立ち上がることで社会保障全体を底上げし軍費の増大へ歯止めをかけ、誰もが安心して暮らせる社会に変えていこう」と強調しました。

日本共産党の高橋千鶴子衆院議員と民進、自由両党の国会議員が参加し、あいさつしました。